

～ 目 次 ～

1	はじめに	・・・1
2	アクションプランのめざすところ	・・・2
3	目標	・・・3
4	これまでの取り組み、今後の取り組み予定	・・・4
5	みんなの「ばら」100万本プロジェクト 事業	
	Ⅰ 新たな名所、拠点となる場所の創出プロジェクト	・・・5
	(1) みんなで取り組む事業	
	(2) 行政が中心に取り組む事業	
	(3) 市民、各種団体、事業所等が中心に取り組む事業	
	Ⅱ 全市を挙げてみんなで取り組むプロジェクト	・・・9
	(1) みんなで取り組む事業	
	(2) 行政が中心に取り組む事業	
	(3) 市民、各種団体、事業所等が中心に取り組む事業	
	Ⅲ ばらの植栽サポートプロジェクト	・・・10
	(1) みんなで取り組む事業	
	(2) 行政が中心に取り組む事業	
	(3) 市民、各種団体、事業所等が中心に取り組む事業	
	Ⅳ 花だけじゃない!!!ばらのアピールプロジェクト	・・・12
	(1) 名所・拠点となる場所をPRする事業	
	(2) ばらのイメージアップに関する事業	
	(3) 「思いやり」「優しさ」を育てる事業	
6	資料編	・・・14

福山市の「ばらのまちづくり」は、1945年（昭和20年）8月8日、市街地の約8割を焼失した福山空襲から、戦後の復興と荒廃した街へ潤いをもたらすことを願い、「花こそ心が安らぐもの、花を植えよう」と、現在のばら公園付近の住民と行政が協働し、「ばら」を1,000本植え付けたことから始まりました。

その後、「ばらのまちづくり」は市民と行政が一体となった「協働のまちづくり」の原点として位置づけられ、今日まで「ばら」をシンボルとしたさまざまな取り組みが市内各地で行われてきました。

そして、2007年（平成19年）に策定した第四次福山市総合計画において、「にぎわいしあわせあふれる躍動都市～ばらのまち 福山～」を将来都市像とするなど、「ばら」は福山市の都市ブランドとして定着しています。

そうした中、2009年（平成21年）5月、「ばら」を通じたまちづくりを市の内外へ効果的に発信し、福山市の都市ブランド力をさらに高め、知名度アップを図ると同時に、市民一人ひとりが「ばら」に対する想いを共有することのできる、「100万本のばらのまち 福山」を実現するため、市民の代表で組織する「100万本のばら市民会議」を立ち上げ、議論を重ねてまいりました。

ここに、市民の参画と協働による、『ばらのアクションプラン』を策定し、～みんなの「ばら」100万本プロジェクト～として、市民・各種団体・事業所・行政の協働により、100万本のばらのまちの実現に向け、ともに取り組んでまいります。

I 福山の知名度アップ、都市ブランドの向上を図ります

中四国地方の中核となる都市に成長した福山市ですが、全国的な知名度という点ではさらなるアピールが必要です。市民、各種団体、事業所、行政等が協働し、市内のいたるところでばらを見ることができる、「ばらが咲き誇るまち」を実現します。同時に、ばらをアピールしたさまざまな取り組みを行うことにより、全国的な知名度アップや都市ブランドの向上を図ります。

II シンボルとなる拠点の充実・拡大を図ります

市内で多くのばらを見ることができる場所として、ばら公園等がありますが、新たに、市内の主要な幹線道路、福山駅周辺、構想中のシンボルロードなどへばらを効果的に配置することにより、すべての人々が「ばらのまち 福山」を実感できる拠点の整備・拡大を図ります。

III 市民のばらに対する「想い」の共有を図ります

市の花「ばら」の歴史を学ぶことや、自ら育てることなどにより、「ばら」に対する愛情を育むことが大切です。また、家庭や地域において、ばらが身近に感じられる環境づくりを通じ、思いやりや優しさなどを育み、市民一人ひとりが「ふるさと福山」に誇りが持てるよう、市民のばらに対する「想い」の共有を図ります。

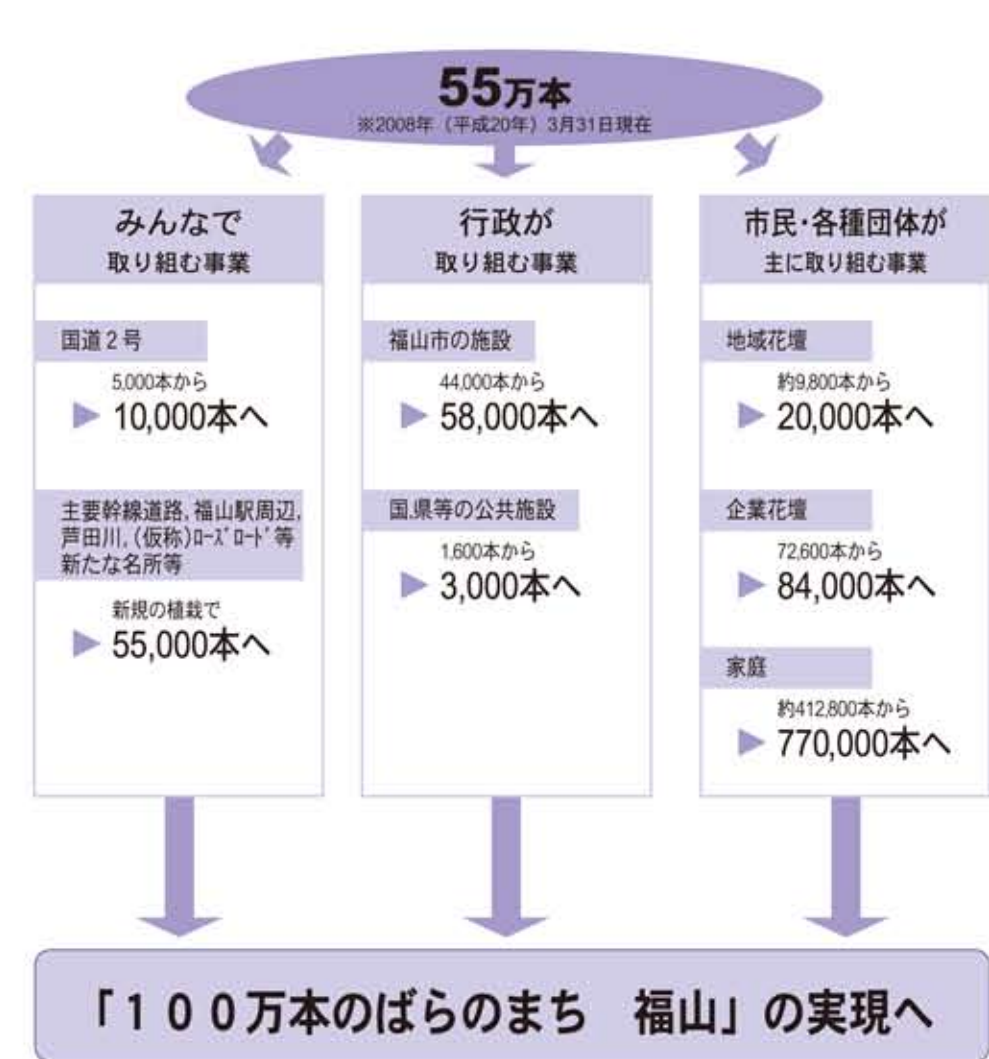


ローズふくやま

「100万本のばらのまち 福山」

「100万本のばらのまち 福山」を実現するため、市制施行95周年となる2011年度（平成23年度）に70万本の植栽を中期目標とし、市制施行100周年を迎える2016年度（平成28年度）には100万本をめざします。

〈各分野の目標本数〉



1956年(昭和31年)	現在のばら公園付近の住民が1,000本のばら苗木を植えつける
1968年(昭和43年)5月	花園町町内会、「全国美しい町づくり賞」最優秀賞受賞 バラ祭を開催(以後、毎年開催)
1985年(昭和60年)4月	市の花を「ばら」と制定する。 ※同時にひらがなの「ばら」に統一 翌年、「ローズふくやま」誕生
1992年(平成4年)2月	福山市において第1回ばら制定都市会議(ばらサミット)開催
1993年(平成5年)11月	ばらシンボルマークの制定
2000年(平成12年)5月	福山市において第9回ばら制定都市会議(ばらサミット)開催
2005年(平成17年)7月	協働のまちづくりのガイドラインとなる福山市協働のまちづくり指針を策定
2006年(平成18年)5月	ばら公園、世界ばら会連合優秀ガーデン賞受賞
2007年(平成19年)3月	第四次福山市総合計画(にぎわい しあわせあふれる 躍動都市 ~ばらのまち 福山~)策定
2009年(平成21年)5月	「100万本のばら市民会議」発足
2010年(平成22年)3月	「ばらのアクションプラン」策定
2011年(平成23年)5月	市制施行95周年に合わせ、ばらサミットを福山市で開催 年度内に「ばら」70万本達成
2016年(平成28年)	市制施行100周年。年度内に「ばら」100万本達成



I 新たな名所、拠点となる場所の創出プロジェクト

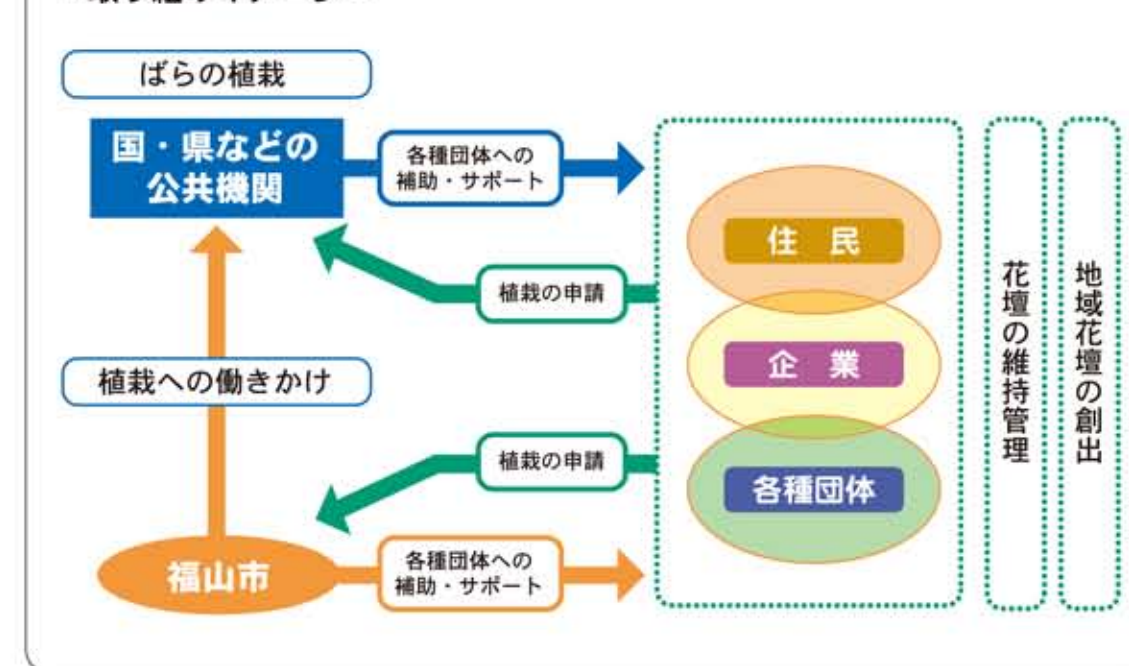
市内において、集中的な植栽を行う場所を設定することにより、新たなばらの名所を作り出し、同時に各地域におけるばらの栽培拠点を創出することにより、市の内外にアピールしていくことが効果的です。さあ、みんなで、地域で、ばらの名所・拠点を創っていきましょう。

(1) みんなで取り組む事業

福山市を代表する場所や、市の内外の方々が多く訪れる場所等を中心に、集中的、効果的に植栽を行うことにより、新たなばらの名所を創出します。

その結果、福山市を訪れるの方々に対し「ばらのまち 福山」をアピールすると同時に、福山市民に対しても、市の花「ばら」に対する「想い」の共有とその浸透を図り、「ばらが咲き誇るまち」を体感できる福山市を市民、各種団体、行政の協働によりつくっていきましょう。

～取り組みイメージ～



福山駅周辺の緑地へばらを植栽します

取組内容 | 現在整備中の駅前広場を含めた駅周辺にばらを多数植栽することにより、「ばらのまち 福山」にふさわしい玄関口にします。

駅前大通りへばらの植栽を充実します

取組内容 | 駅前大通りを「ばらの大通り」と位置づけ、ばらの植栽を充実し、市の内外の方々にばらの名所としてアピールします。

国道2号等、市内を通る主要幹線道路沿いにばらを植栽します

取組内容 | 福山市内を通る国道及び主要幹線道路の沿線にばらを植栽し、市の内外の方々に「ばらのまち 福山」をアピールします。

福山駅からばら公園までの「(仮称)ローズロード」を整備します

取組内容 | 福山の玄関口である福山駅からばら公園まで、ばらを楽しみながら歩いて行けるばらのシンボルロード「(仮称)ローズロード」を整備し、福山市を訪れる方へ「ばらのまち 福山」をアピールします。

春日池公園をばらの新たな名所として整備します

取組内容 | 春日池公園をオールドローズ等を植栽した、特色あるばら公園として整備し、ばら公園、緑町公園と並ぶ、新たなばらの名所として整備します。

芦田川へばらの植栽に取り組みます

取組内容 | 福山市の母なる川、芦田川沿いの遊歩道や広場に、修景用ばら等を植栽することにより、新たなばらの名所を創出します。

市民会議での拠点案

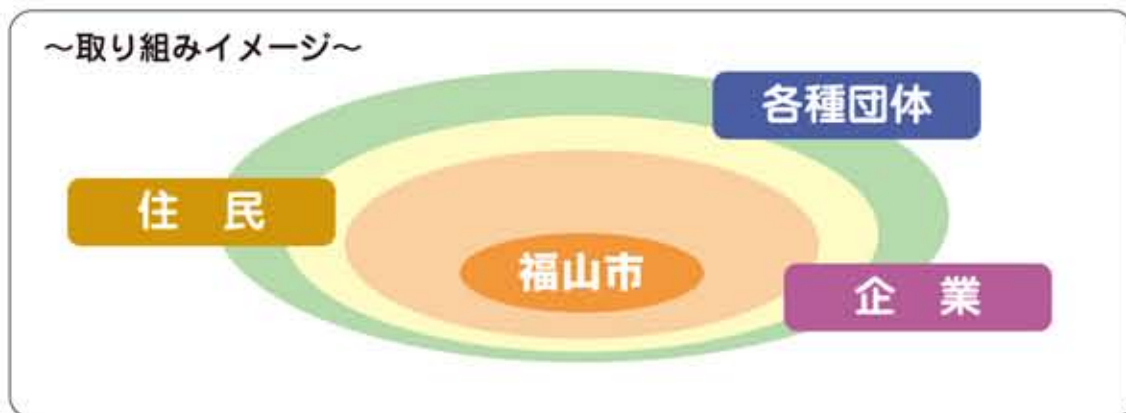


その他100万本のばら市民会議で提案のあった事業(案)

- ・市境にばらを植栽し、「ばらのまち 福山」を市の内外にアピール
- ・インターチェンジ、高速道路沿いへばらを植栽する
- ・市内の観光地にばらを植栽し、ばらのまちをアピールする
- ・福山駅構内やホームにばらを設置し、ばらのまち福山をアピールする

(2) 行政が中心に取り組む事業

市内各地域へ、市の花「ばら」がより一層浸透するよう、市の施設、管理地へばらを植栽します。



公共施設にばらを植栽します

取組内容

市内に点在する公共施設を中心に率先してばらの植栽を行い、地域におけるばらの拠点として整備します。また、地域花壇との相乗効果により、市内各所で市民の方々がばらと触れ合う機会を創出します。

教育施設にばらを植栽し、幼少期からばらと触れ合う拠点を創出します

取組内容

市内の各教育施設にばら花壇を設置するなど、ばらの植栽を行い、情操教育の一環として、幼少期からばらと触れ合うことのできる拠点を創出します。

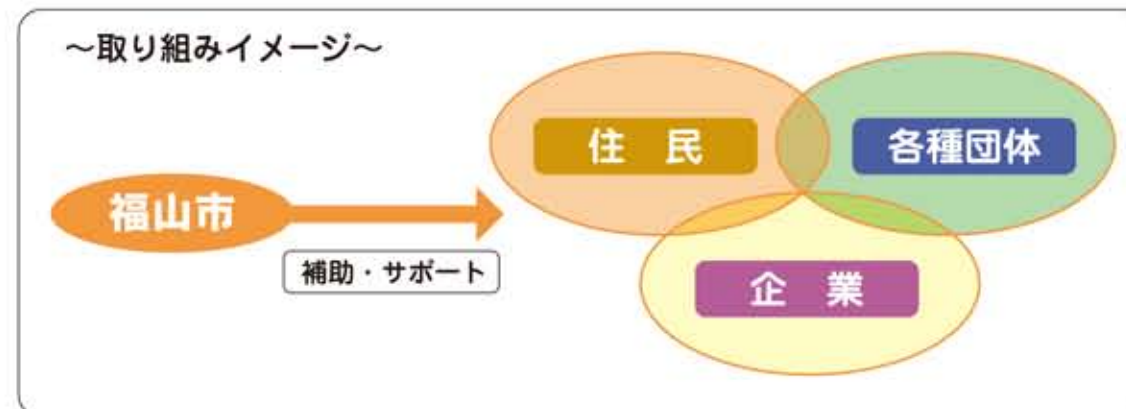
拠点支所管内へ中規模程度のばら花壇を整備します

取組内容

拠点支所管内に中規模程度のばら花壇を整備し、各地域における中核的花壇として整備します。

(3) 市民、各種団体、事業所等が中心に取り組む事業

市民一人ひとりの取り組みや各種団体等が行う事業、地域花壇を通じ、地域から自主的に植栽本数の増加が図られることにより、市内各地域でばらが体感できる「ばらが咲き誇るまち」をめざします。



市内各地域へばら花壇を創出します

取組内容

市内の各地域や各種団体、事業所において拠点となるばら花壇を創出し、市内どの地域でもばらを体感できる「ばらが咲き誇るまち 福山」をめざします。

II 全市を挙げてみんなで取り組むプロジェクト

行政だけでも、市民だけでも、各種団体や事業所だけでなく、福山市全体でスクラムを組み、「100万本のばらのまち 福山」の実現をめざします。

(1) みんなで取り組む事業

市の花「ばら」をみんなで育てます

取組内容

市の花が、ばらと知っていても、実際に育てた経験がない方も多いことから、「一人一鉢運動」や「家庭にもう2本」等のキャンペーンを行い、市民みんなで100万本をめざします。

ばらに関連する制度を積極的に活用します

取組内容 | 住民参加型施設等整備事業やキーワードモデル事業、協働のばら花壇整備事業等、ばらに関する制度を積極的に活用し、事業に取り組みます。

花壇オーナー制度等のばらに関する事業に積極的に参加します

取組内容 | 花壇オーナー制度の募集やアドプト（里親）制度等、ばらの植栽本数増加に関する事業に積極的に参加します。

※花壇オーナー制度… 緑町公園のオーナー花壇や、福山明るいまちづくり協議会が駅前大通りで実施しているもの等、花壇の一定区域を市民の方々に貸し出し、ばら等の花の栽培をオーナー自ら行うもの。
 ※アドプト(里親)制度… ボランティア市民が里親となり、行政と役割分担しながら一定の公共空間の維持管理を行うもの。

(2) 行政が中心に取り組む事業

記念日においてばらが登場するよう努めます

取組内容 | 記念日（入学、出産、結婚等）ごとに、ばらが登場するよう、ばらの配布事業の新設等に取り組みます。

(3) 市民、各種団体、事業所等が中心に取り組む事業

ばらの普及に関する事業に取り組みます

取組内容 | まちづくり推進委員会などの各種団体や事業所等において、ばらの専門部会や愛好家チームを立ち上げたり、イベント時にばらを配布するなど、ばらの普及事業に取り組み、市内各地域でばら栽培の浸透を図ります。

(1) みんなで取り組む事業

未利用地等を活用し、ばら栽培に取り組みます

取組内容 | 地域団体やボランティア、NPO等が耕作放棄地等の未利用地をばら苗栽培に活用することにより、100万本達成に向けた、ばら苗の供給体制を確立します。

新たなばら苗栽培農家の育成に努めます

取組内容 | ばら栽培に取り組む方々の育成を通じ、新たなばら苗栽培農家の育成に取り組みます。

育てやすい品種や「福山」と名のつく品種を活用します

取組内容 | 病気や害虫に強い品種を活用すると同時に、「福山城」などの福山に関係のあるばらを活用し、ばらへの愛着心を育みます。

「のばら」や修景用ばら等を活用します

取組内容 | 国道や芦田川等の手入れが難しい場所や、栽培する方がいない場所等に、手入れがあまり必要のない「のばら」や修景用ばらを植栽していきます。

(2) 行政が中心に取り組む事業

栽培方法等の情報を入手できる環境を整備します

取組内容 | 剪定講習会等、既存講習会の充実や、「(仮称)福山ばら大学」を設置するなどして、栽培に関する情報が手軽に入手でき、初心者でも安心して栽培に取り組める環境を整備します。

現行の補助制度の充実を図ります

取組内容 | 協働のばら花壇整備事業等を拡充し、より継続的な取り組みが可能となる制度に改正します。

III ばらの植栽サポートプロジェクト

新たなばら栽培農家の育成や、市内各所での接ぎ木、挿し木等により、100万本のばらのまちの達成に向け、必要な供給量を確保することが重要です。また、ばら栽培未経験者の方々が気軽にばら栽培を始める環境や、経験のレベルに応じた情報を簡単に入手できる環境の整備も必要です。ばらを育成する方々に対し、さまざまなサポート体制を取っていきます。

(3) 市民、各種団体、事業所等が中心に取り組む事業

地域花壇を充実させ、地域からばらを増やします

取組内容 | 地域や各種団体による挿し木、接ぎ木講習会や事業を拡充することにより、市内各地域で植栽本数の増加をめざします。

その他100万本のばら市民会議で提案のあった事業（案）

- ・公民館等を利用した市内各地域におけるばら栽培講習会の実施
- ・一定の栽培経験を持つ身近な相談員を各町内に配置
- ・すぐに栽培が始められる「ばら栽培キット」の開発・販売
- ・そこに行けばばらに関する情報を常時入手することができる施設の開設
- ・ばらの観光農園の創出

IV 花だけじゃない!! ばらのアピールプロジェクト

「ばらのまち 福山」をアピールするためには、ばらをモチーフにしたモニュメントの設置やイベントの開催など、生花以外の取り組みによるアピールも大切です。100万本の植栽をめざすと同時に、ばらのイメージアップに効果的に取り組むことで、ばらに対する愛着や誇り、「ローズマインド」と言われる「思いやり」「優しさ」を持つ市民を育て、「ばらのまち 福山」をみんなで全国にアピールしましょう。

(1) 名所・拠点となる場所をPRする事業

名所や拠点となる場所や、ばらのまち 福山のさらなるPRに努めます

取組内容 | ばらの拠点、名所となる場所やばらのシンボルロード「(仮称)ローズロード」へ、「ばらのまち 福山」を強く印象づける看板等を整備し、その相乗効果を演出します。

100万本のばら市民会議での事業（案）

- ・新幹線等の車内や駅構内で、ばらのテーマソングや、「ばらのまち 福山」のアナウンスをする
- ・折りばら等、生花以外の取り組みの強化
- ・駅のプラットフォームへばらの図柄、看板等を設置
- ・福山駅周辺にばらの巨大モニュメントを設置
- ・駅前や(仮称)ローズロードにカラー舗装や旗等を設置
- ・くぐれば幸せになる「ばらのアーチ」を駅前に設置
- ・国道や高速道路へ「ばらのまち 福山」の観光看板

(2) ばらのイメージアップに関する事業

ばらのイメージアップに努めます

取組内容 | イメージキャラクターや名産品の創出など、ばらに関連する物品によるPRやイベントの実施により、「ばらのまち 福山」のイメージをさらに市の内外にアピールするとともに、市民のばらに対する「想い」の共有を図ります。

100万本のばら市民会議での事業（案）

- ・ばらのイメージキャラクターを創出し「ばらのまち 福山」を全国に発信する
- ・芸能人などの有名人を「ばら観光大使」として任命し、PRする
- ・原付にばらをかたどったナンバープレートの導入
- ・広報ふくやまへ年間通じて「ばら」に関する記事を掲載
- ・一定本数の植栽に対し、認定書や特典付きカードの交付
- ・老人大学へ「ばら科」を設置するなど、退職後の楽しみとしてばら栽培に取り組めるようにする
- ・ばらのソフトクリーム等の名物の創出
- ・個人花壇や小学校花壇対抗のばら花壇コンテストの創設

(3) 「思いやり」「優しさ」を育てる事業

ばらを通じて豊かな心を育みます

取組内容 | 市民一人ひとりがばらを育てることや、折りばらの普及、さらには福山のばらの歴史を学ぶことを通じ「ローズマインド」と言われる「思いやり」「優しさ」を育み、「ふるさと福山」を大切に育てます。

100万本のばら市民会議での事業（案）

- ・ばらと福山の戦後復興を絵本化
- ・父の日にはばらを贈る運動の定着
- ・小学校での、「マイローズ運動（一人一鉢運動）」の取り組み
- ・全ての児童・生徒が簡単に折りばらを折れるよう取り組む

(2) 福山市ばら関係課会議構成メンバー表

(1) 100万本のばら市民会議 委員名簿 (五十音順)

役職	推薦委員	団体名	備考
1 副代表	ありおか とおる 有岡 亨	一般公募	
2	あむむら かづと 栗村 和人	一般公募	
3	いけだ のぶゆき 池田 信行	福山商工会議所	
4	いしい みのる 石井 稔	福山ばら会	
5	いしはら ましと 石原 孝人	福山市公衆衛生推進協議会	
6	うだ けんきち 宇田 賢吉	Rose for Peace 折りばらの会	
7 副代表	うらすみ としあき 浦隅 俊明	ばらオーナー会	
8	おおしま きぬえ 大島 衣恵	ふくやま国際交流協会	
9	おだ ゆみ 小田 由美	福山ローザリアンクラブ	
10	かいた てつろう 貝田 哲郎	福山市自治会連合会	第2回より就任 (第1回 門田勤委員)
11 代表	かどい よしのり 門井 善敬	福山明るいまちづくり協議会	
12	きたむら なかお 北村 仲夫	行政	
13	きゃくもと まきこ 客本 牧子	一般公募	
14	こばやし さだこ 小林 貞子	福山市女性連絡協議会	
15	ほしもと けいじ 橋本 敬治	連合広島福山地域協議会	
16	ほただ なおき 畑田 直毅	福山祭委員会企画実行委員会	
17	はらだ ゆりこ 原田 ゆり子	一般公募	
18	ほり けいせん 堀 径扇	行政	
19	よしおか けいじ 吉岡 敬時	福山市老人クラブ連合会	
20	ローシン マクガワン Roisin McGowan	一般公募	

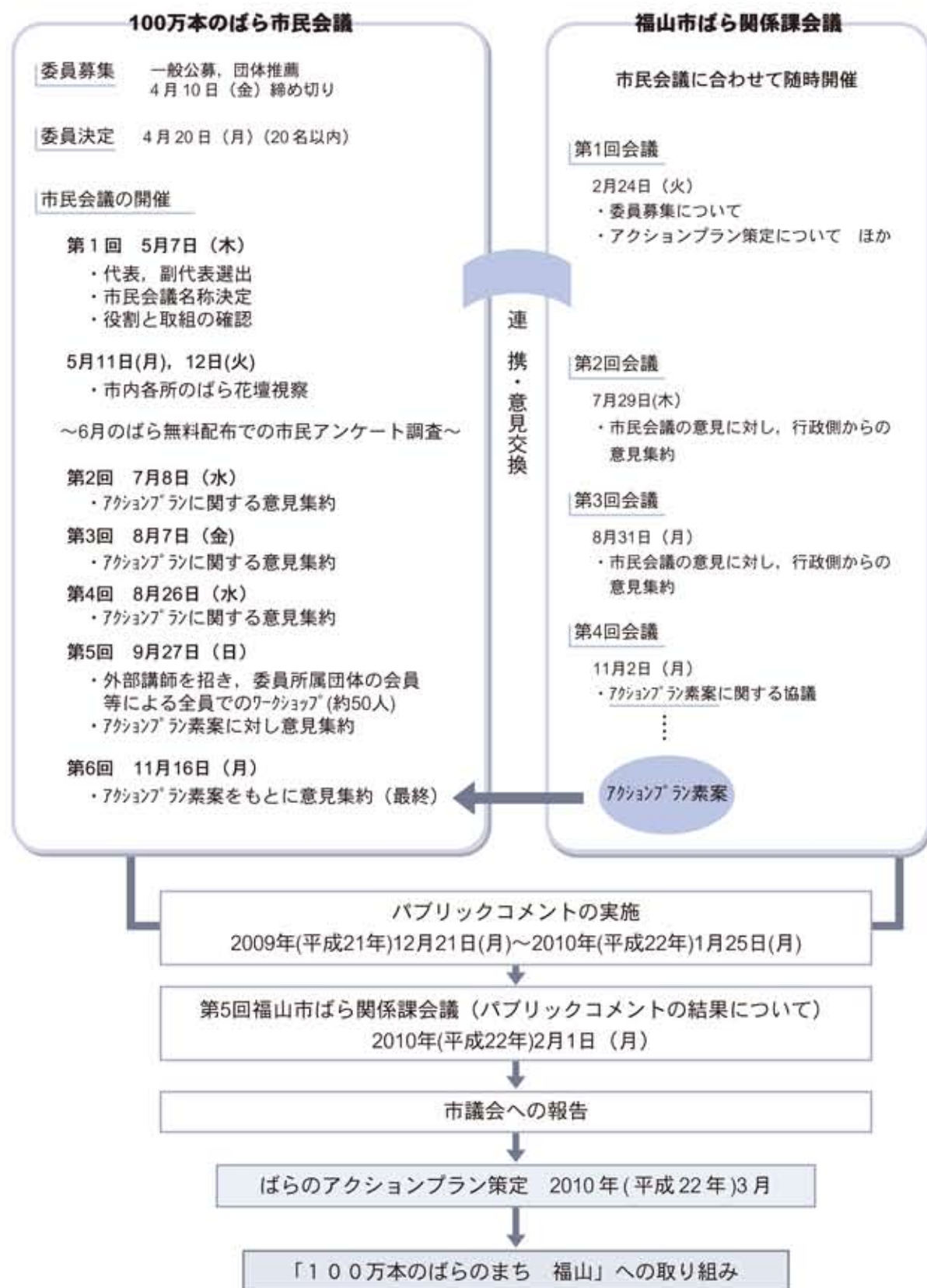
○福山市ばら関係課会議

- (1) 企画課長
- (2) 経済環境政策課長
- (3) 商工課長
- (4) 観光課長
- (5) 農業振興課長 (園芸センター所長)
- (6) 市民政策課長
- (7) 市民相談課長
- (8) 松永地域振興課長
- (9) 北部地域振興課長
- (10) 東部地域振興課長
- (11) 神辺地域振興課長
- (12) 建設政策課長
- (13) 公園緑地課長
- (14) 教育委員会総務課長
- (15) 教育委員会指導課長
- (16) 協働のまちづくり課長

○100万本のばら市民会議からの事業提案による会議出席課

- (1) 安全厚生課長
- (2) 農政課長
- (3) 土木管理課長
- (4) 道路維持課長
- (5) 都市整備課長

(3) ばらのアクションプラン策定に関するスケジュール



(4) ばらに関するアンケートについて

アンケート期間: 2009年(平成21年)6月8日(月)～6月11日(木)
 アンケート対象: ばら苗配布事業申込者のうち、「栽培初心者講習会」参加者
 回答総数: 196 (ばら苗配布事業申し込み件数791※団体含む)

※昨年までは栽培に関する事前講習会を申し込み者全員を対象としていたが、今年度は栽培初心者を対象とし、参加・不参加による配布本数の増減は行わないこととした。

◎年代と性別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計	未記入
男性	0	1	1	5	6	38	22	1	74	19
女性	0	4	10	11	34	39	5	0	103	

男性・女性ともに最多は60代であった。次に多いのは、男性は70代、女性は50代であった。講習会の時間設定も原因としてあげられるが、男性は退職後の世代、女性は子育てが終わり、時間に余裕ができた世代ではないかと推測される。

問1 あなたは現在ばらを栽培していますか。

はい 123 人
 いいえ 73 人

「栽培初心者講習会」として開催したが、半数以上が栽培経験者の参加となった。近年の福山明るいまちづくり協議会主催のばら講習会の盛況を勘案すると、講習会の一層の充実に向けて取り組む必要があるのではないかと考えられる。

問2 今回、ばらを育ててみようと思ったきっかけは何ですか。 (問1で「現在ばらを育てていない」と答えた人のみ、複数回答あり)

a 無料なのでとりあえず 21 人
 b 知り合いが育てているので 17 人
 c 以前から興味があったので 36 人
 d その他 9 人

- ・ばら苗をもらえるようになったため
- ・町内へ植えたい…2人
- ・市の計画へ協力したい
- ・団体で育成するから
- ・自宅を新築したから

自宅でばらを育てていない参加者からの回答では、「以前から興味があった」が最多回答を占めた（73人中36人）。次いで「無料なので」との回答であったが、「知り合いが育てているから」との回答も多数あった（73人中17人）。苗を手に入れる機会があり、栽培環境が身近にあれば、ばらへの関心もより高まると思われる。

問3 今回で何回目の応募になりますか。
(問1で「現在ばらを育てている」と答えた人のみ)

1回目	96人
2回目	23人
3回目	2人
4回目	2人

現在ばらを育てている方のなかでも、配布事業への応募がはじめてという方が大半を占めた（123人中96人）。最後の自由意見のなかにもあるが、配布事業を知らないという意見も寄せられている。配布事業に関しては、効果的な広報をさらに検討していくことで、新たな愛好家の増加につなげることができると思われる。

問4 複数回ばら苗無料配布へ応募されている方へ質問します。複数回答の理由を教えてください。
(問1で「現在ばらを育てている」と答えた人のみ、複数回答あり)

a 枯らしてしまったから	9人
b ばら栽培を拡張するため	23人
c 人にあげてしまったから	0人
d その他	1人

・上手に育てられない（病害虫がつくため）

問5 栽培している本数は何本ですか。
(問1で「現在ばらを育てている」と答えた人のみ) ※団体の回答も含む

1本 ~ 5本	60人
6本 ~ 10本	35人
11本 ~ 15本	6人
16本 ~ 20本	5人
21本 ~ 30本	1人
31本 ~ 50本	3人
51本 ~ 70本	4人
100本	2人
150本	2人
200本	2人

問6 現在福山市では、ばら苗無料配布や、団体に対するばら花壇整備費補助など、様々なばらに関する取り組みを行っていますが、現在栽培されている方に対して行政から、どのようなサポートを望みますか。ひとつ選んでください。
(問1で「現在ばらを育てている」と答えた人のみ)

a ばら苗の配布	41人
b 肥料などの材料補助	32人
c 育て方などの栽培講座	44人
d 新種のばら開発	3人
e プランター・花壇の整備費補助	19人
f その他	4人

・地域ごとにばら栽培指導者を育成する
・「広報ふくやま」への季節ごとにばらの管理について掲載
・地域へばら栽培を宣伝する
・特になし

既に植栽している方が希望するサポートは、「苗木の配布」のほかに「肥料などの材料補助」と「栽培講座の充実」の3つに分かれた。団体に対する花壇整備補助に加え、材料補助についても植栽環境を向上させる方策のひとつとして考えられる。

問7 現在福山市では「100万本のばらのまち」をめざして各種取り組みを行っています。100万本を達成するためにはどのような具体的取り組みが必要だと思いますか。

a ばら苗配布の増加	100人
b 肥料などの材料補助の充実	44人
c 栽培講座等の充実	66人
d 家庭のばら花壇への補助	38人
e コンテストなどの賞の充実	13人
f その他	8人

・草の根運動、愛好家の口コミなど
・公民館などへのポスター掲示
・出前講座の強化
・家庭花壇のばらの写真展等
・市民のばらに対する関心を高め、大切に育てようとする呼びかけや、資料配布、イベントなど
・各団体への協力の働きかけの強化
・種類とまではいわないが花色まで希望できるばら苗配布
・地域・町内会単位での話し合いの場を設ける

無料配布に連動した事業でのアンケートのためか、「配布本数の増加」が最多の回答となった。次いで「栽培講座の充実」、「材料の補助」と続いた。その他意見として「家庭花壇のばらの写真展等の実施」などの意見もあった。

問8 「100万本のばらのまち」を達成するためのご意見等ありましたら自由にご記入ください。

※回答の分野別に集計

1. 栽培講習会について

- ・指導者の育成補助…3件
- ・栽培講座の充実（場所・回数の増加）…11件
- ・育て方の指導を各グループの代表に行い、ばらの「おもしろみ」を知ってもらおう
- ・ばらの「おもしろみ」を知ってもらう活動が大事

2. 地域・企業等の取り組みについて

- ・公園等に地域のボランティア等の協力で花壇作りと管理を任せる…5件
- ・企業や商店等の玄関に鉢植えのばらを置く特典がもらえるようにする…2件
- ・小・中学校等でばら栽培の講習等を行い、子どもたちの参加を促す（放課後子ども教室を利用）…2件
- ・花泥棒が多いので管理の強化
- ・町内等で良い花を選んで話しあう
- ・企業（商工会議所等）への拡大を図る
- ・各町内にある公園のばらの手入れができていないので“ばらのまち”というイメージと程遠い気がする

3. ばら苗配布事業について

- ・広報以外にも宣伝を、この取り組みを知らせる場所を設ける…4件
- ・今回初めて無料配布を知った、知らない人が多い…4件
- ・ばら苗配布に賛同、感謝…3件
- ・希望の種類（例：イングリッシュローズやオールドローズなど）や色が配布されるようにすべき…2件
- ・ばら無料配布の本数を少なくし、大勢の人に渡るようにする
- ・ばらの土を本数に応じて配布
- ・庭のある家か花の好きな人に無料配布する
- ・配布後の反省をもっとしっかりとすべき
- ・福山市在住の方一人ひとりに無料配布
- ・育てやすいばらを配布する
- ・高齢者にはミニばらや鉢植えがいいと思う
- ・市内の小・中・高に配布
- ・ばら苗配布事業のときに実技講習をしてほしい
- ・ばら栽培未経験者やこれから取り組む団体に優先的にばら苗が行き渡るようにする

4. 苗木の配布以外の補助について

- ・ばらの農業の配布…2件
- ・休日の水やりが問題なので灌水設備の補助

5. 福山駅周辺やばら公園等の取り組みについて

- ・四季折々のばら公園にばらの大アーチ等を作ってもっと芸術性のある公園にしてほしい…2件
- ・福山市役所付近の街路樹にばらをもっと増やしてほしい
- ・福山駅改札口→コンコース→駅前広場→ばら公園・緑町公園につながるばら花壇を両側に整備した“ローズロード”を設けてみてはどうか。東京から帰ってきたときにばらの街の雰囲気と香りがしないのは残念
- ・市役所の国道2号線のばらはドライバーから見える配置にすべき
- ・Yahoo検索では福山のばら公園は有名園に入っていない
- ・市内のばら花壇マップを作って歩いてみてまわるツアーをするとよい
- ・ばらシンボルロードを作る

6. 行政に対して

- ・行政がまず手本を見せるべき。市役所職員が率先して植える取組みも検討してほしい
- ・市の広報に年に1度はばらの育て方を記載するのはどうか
- ・公民館や集会所など公共施設にばらが無い、少ない…2件
- ・公共の場所にもっとばらを植え、管理をしっかりし、美しい花壇を市民に見せることで自分もしようという気持ちにさせる

7. その他

- ・家庭に植えているばらを見てほしい
- ・スローガン『ばらづくり』『人づくり』『街づくり』などはどうか
- ・計画的に増やすべき、目標設定に無理があるのではないのか

大きく分類すると ①栽培講習会の充実 ②学校を含めた地域・企業への取り組み強化 ③無料配布の周知 ④苗以外の補助 ⑤名所の創出・強化 が挙げられた。その他にも有名サイトの有名公園に入っていないなど興味深い意見が寄せられた。

～アンケート結果から～

配布事業に関しては、アンケート実施の時間帯にもよるかもしれないが、ばら苗配布事業については、「知らなかった」「初めて知った」などの意見が寄せられた。広報ふくやま等に掲載しているものの、100万本のばらのまちをめざすうえでは、事業について、さらなる広報が必要と思われる。

次に年齢構成についてであるが、アンケートでは、ばら栽培に取り組んでいる年齢層が、50代から70代という結果が出た。ばらの植栽本数増加の取り組みにおけるターゲットとなる世代という結果だが、逆に言えば、40代以下の世代に興味を持たせる取り組みができるかどうかにより、植栽本数の伸びは大きく変わってくると思われる。

また、市内各所での講習会の開催を望む声がアンケート全体を通して多かった。現在福山明るいまちづくり協議会やばら関係団体が毎月講習会を開催しているが、派遣できる講師数や会場確保等の問題はありますが、開催場所や回数の増加に向けた取り組みが必要と思われる。

植栽後の資材等に関する補助の要望もあるが、肥料などは市内の販売店において、比較的安価で購入することが可能であることなどを考えると、個人向けには難しいと思われる。しかし、地域花壇など、一定規模の花壇を団体で整備、維持管理する際の補助制度は検討する必要があると思われる。

配布事業への応募に関して、「以前から興味があった」、「知り合いが育てているから」との理由が多数寄せられたことは、生活環境に身近な地域花壇の充実が植栽本数の増加に大きな役割を果たすと考えられる。さらには自由意見のなかに「～から帰ってきた時にばらの街の雰囲気と香りがしないのは残念」などとあるように、福山市民及び福山市を訪れた人全てが「ばらのまち 福山」を実感できるまちづくり、拠点づくりへ取り組むことが今後、求められている。

(5) ばら制定都市会議

※ばら制定都市会議とは、ばらを市町の花として制定している都市及びばらが広く住民に愛好されている都市により構成される会議です。現在22市町が加盟しています。

